

H17・H18 年度施工予定区間に関するモニタリング調査項目(案)

塩浜 2 丁目の H17・H18 年度施工区 (約 100m) を対象とする。

項目	目的	方法	時期(間隔)	数量等
波浪(流況)	護岸前面域の波浪(流況)状況変化の把握 ・波高・波向の計測 ・波浪流の計測	波高・流速計の設置 (30日間連続観測)	①施工前:3月 ②施工後 秋季:9月 春季:3月	・護岸前面の1箇所(30日連続観測)
地形	・護岸部の張り出しによる周辺への物理的影響の把握 ・洗掘等による周辺地形の変化の把握等	地形測量	①施工前:3月 ②施工後 ・秋季:10月 ・春季:4月	・既設護岸法線から離岸距離100mまで ・施工範囲100mに対して5測線(20m間隔)
底質	粒径の変化の把握	採泥・粒度試験	地形と同じ	深浅測量の中央の1測線で10m間隔で採泥(11検体)
生物	潮間帯生物の定着状況 ※調査は公開とし、ライントランセクト法による観察は市民との協働で行うものとする。	・ライントランセクト法による観察	①施工前:3月 ②施工後1ヶ月:10月 ③施工後3ヶ月:1月 ④施工後7ヶ月:4月 ⑤施工後1年:9月	・施工区の中央部に1測線, 対照区として測線L-2の1測線(100m)の計2測線 ・石積護岸部(斜面上): 方形枠(50cm×50cm)による連続目視観察 ・のり先から離岸距離10mまで1m間隔 ・のり先から離岸距離10~100mは10m間隔
		・採取分析		
景観	・周辺域との景観の調和 ・石積へのごみの堆積状況の把握	委員、一般市民参加による見学会形式	施工後1回	—

※各調査の継続年については、モニタリング結果を検証しながら決定していくものとする。

モニタリング調査工程表

項目	年度	H18												H19						
	月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
波浪・流況		■						■						■						
地形		■							■						■					
底質		■							■						■					
生物		■							■			■			■					■
景観									●											

